



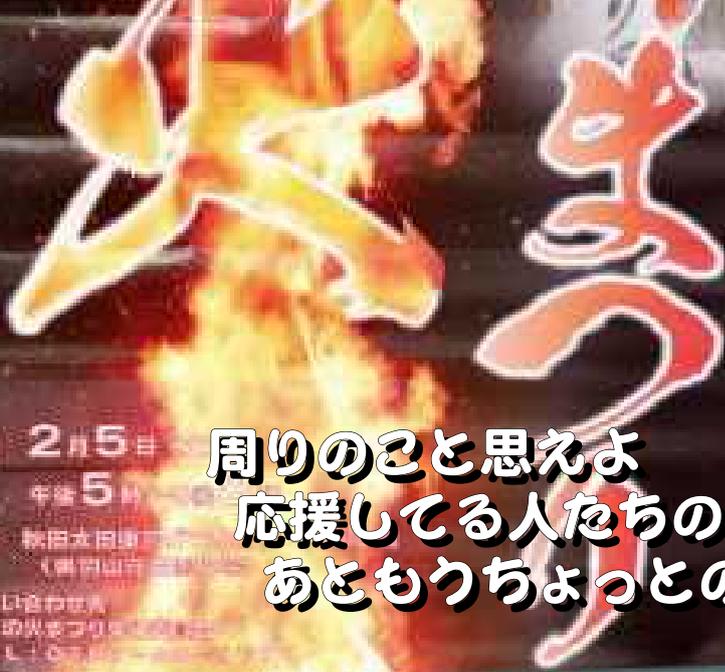
# ユツユツ とこどん

大仙市立太田中学校  
令和4年1月19日  
NO. 111



うららかに たくましく ~耕し 萌えたち みのらせ さきみだる~

**諦めんなよ！ 諦めんなよ お前！  
どうしてそこでやめるんだ そこで！  
もう少し頑張ってみろよ！ ダメダメダメ諦めたら！**



**周りのこと考えよ  
応援してる人たちのこと思ってみろって！  
あともうちょっとのところがなんだから！**

(松岡 修造)

## 3年生の高校合格を願う 紙風船

昨年は、コロナ禍で中止を余儀なくされた太田地域の一大イベント『太田の火祭り』が、今年は2月5日(土)に開催される予定になっています。『太田の火まつり』は、太田地域に伝わる小正月行事を一堂に行い、地域の伝統行事を伝承していこうと開催されています。その場で、多くの紙風船が打ち上げられますが、その一つに、我が太田中の紙風船も打ち上がります。

新聞等では、「落ちないリンゴ」「スルスル入る合格うどん」「桜咲く桜アイス」「合格祈願昆布」等々…様々な地域で、中学校3年生の高校合格を願う温かい心配りのニュースを、目にしたり耳にしたりしますが、『太田の火祭り』で打ち上がる我が校の紙風船に3年生の高校合格への願いを込めています。



昨日1月18日(火)、その紙風船を、2年生が制作しました。制作に当たっては、太田東小学校の地域学校協働活動推進員の高橋広之さんと三本扇の鷹鷲信行さんにご指導いただきました。

2年生の子どもたちは、小学生の時にも作っています。高橋さん、鷹鷲さんの指導とその時のことを思い出しながら手際よく制作していました。高橋さんは、子どもたちの手際よさに感嘆の声を上げ、感激していました。昨年は早々に中止が決まったこともあり紙風船の制作はしていませんので、2年ぶりの太中紙風船になりますが、この後絵付けをして、25日に組み立てて完成させ、2月5日の夜には3年生の高校合格の願いを込めた紙風船が天高く舞い上がることを頭に思い浮かべています。



また、3年生には天筆が届いています。その天筆に願いを書き、火祭り当日に焼くことにしています。天筆に書かれた願い事が、ドンド焼きの炎で焼かれ、天高く舞いあがって神様の元へと届けられ、願い事が成就されるものと思っています。

『今、頑張れない奴は一生頑張れない』カリスマ塾講師と呼ばれる吉野敬介氏の著書の題名です。高校入試まであとわずか、気を引き締め直して、今をがんばり、ラストスパート。全員合格で後輩、保護者、地域の励ましに答えてくれるものと思っています。いや、きっと答えてくれるはずです。

『今、頑張れない奴は一生頑張れない』カリスマ塾講師と呼ばれる吉野敬介氏の著書の題名です。高校入試まであとわずか、気を引き締め直して、今をがんばり、ラストスパート。全員合格で後輩、保護者、地域の励ましに答えてくれるものと思っています。いや、きっと答えてくれるはずです。